

幼児期からの性教育

～こんなことも大切な学び～

報告

令和2年12月5日(土)、男女共同参画関連事業として、「性教育」をテーマとした講演会を行いました。

元小学校教諭で現在も子ども向けの講演や「食愛♡Kitchen～くうらぶ♡きっちん～」の主宰等、「性教育」の大切さを伝えるため様々な活動を続けられている菊池準子さんを講師に迎え、大変充実した内容の講座となりました。

「性教育」はコムズでは初めて取り扱うテーマでしたが、幼児期のお子さんを持つ30代・40代のお母さんを中心に、性教育に関心のある70代の方まで、幅広い方々にご参加いただきました。また講演の最後に、2,3人のグループで一つのテーマについて話し合う時間も設けられました。他の方の意見も聞くことで学びが深められ、とても勉強になったという感想を多くいただきました。

男女共同参画を目指すうえで、「性教育」はとても重要な問題です。性教育講座は、来年度以降も継続して開催していきたいと計画しています。親として、そして子どもの成長を見守る大人の一人として、私たち自身も「正確な性の知識」を学び、これからの社会を変えていけるよう行動していく必要があると感じました。



講師

菊池 準子さん

- 一般社団法人“人間と性”教育研究協議会 四国ブロック幹事
- 食愛♡Kitchen
～くうらぶ♡きっちん～ 主宰

子どもからの質問に対して…
「性」の話は恥ずかしいことと
タブー視していませんか？

子どもたちが正確な性の
知識を得られないままだと

不幸せになる性の行動を選択

性の学びがない子ども同士で
性の学びがないままの大人から子どもに
大人同士の対等でない関係の中で

予期しない妊娠・性感染症・性的いじめ
DV・セクハラ・性的虐待・性暴力...etc
性犯罪の被害者、加害者になってしまうことも...

性の人権侵害（性犯罪・性暴力）を
容認してしまう社会に

<性教育に取り組む上でのキーワード>

肯定的
当たり前
自然にある

発達の
年齢や学びに伴い
成長し変化する

性器もみんなのからだにある
からだの変化も性的欲求も
成長の証
学びで性のとらえ方が変わる

<性の学び・育ちで大切なこと>

- 「プライベートゾーン」（水着で隠すところ）は、人に見せたり触らせたりする場所ではないと伝えること
- 親が子どもの誕生や存在を喜んでいることを小さい時から伝えること＝自己肯定感を育む
- 自分の思いを伝える、自分で考え、自分で決める経験を積むこと＝性的な自立（性的自己決定能力）

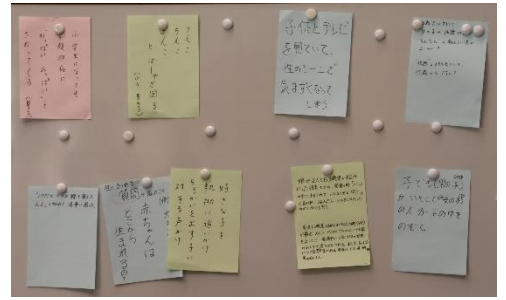
自分自身を大切に思える子どもに



子どもからの性にまつわる質問や行動で困ったもの、心配事を、参加者の皆さんに記入していただきました

その中から、

『性的な言葉を声に出していっぱい言ってしまおう』という心配事について、そのような場合に親はどうしたらいいと思うか、これまでの経験談など、2.3人で1組になり10分間ほど話し合いました。



(皆さんの発表より)

- ・ どうして言うてしまうのかな？
→ 周りの反応が面白い、自分が注目されたいから
- ・ 生きるためには大切なこととして、否定せずに肯定的に伝える
- ・ 学ぶきっかけとして、そのような言葉を正しく教えてくれる絵本や絵を子どもと一緒に見てみる



↑ 菊池さんおすすめの絵本や書籍も、20冊ほどお持ちいただきました。コムズの図書コーナーにも数冊開架していますので、ぜひご覧ください。



年齢に応じて性に関する正確な情報を伝えること、小さいときからの経験や学びの積み重ねが、思春期の成長の手助けになります。
まずは、大人自身が「性」への意識を変えていきましょう。

参加者の声

自分自身が性について話すことにとまどいがあったので、どのように伝えるか悩んでいましたが、生きること、産まれること、当たり前のこととして、正確な情報を伝えてあげることが一番と知り、子どもと関わっていきたいと思います。また、成長とともに対応を変えていきたいと思います。(30代)

幼児に向けての性教育を漠然と考えていたので、まさにぴったりの講座でありがたかったです。(30代)

親がどんな心構えで接すればよいのか勉強になりました。社会を変えていくために、一家庭から始めないと！と心を新たにしました。(40代)

日本はまだまだ「性」教育がタブー視されている所がありますが、年齢や立場に応じて、少しずつ教育を受ける機会が増えると良いと思います。(50代)

参加者の皆さんの意識が高く意見を聞くことができ良い時間でした。少人数でコロナ対策もされており安心できました。

とても参考になりました。他のグループの人にも、この学びを紹介したいです。(70代)